

市民ワークショップ

ふなばSHIPミーティング

報告書

- 第1回 令和元年5月18日（土）
－「船橋市の強みと弱みの洗い出し」

- 第2回 令和元年6月 8日（土）
－「強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組」

- 第3回 令和元年6月29日（土）
－「めざすべき姿の検討と発表」

目次

市民ワークショップの概要

- 市民ワークショップの目的 **4**
- 参加メンバーの構成 **5**
- 検討の経過 **7**

各グループからの報告

- 健康・福祉 **9**
- 教育・子育て **22**
- 市民活動・経済 **29**
- 都市整備・環境 **45**
- 安全 **55**

市民ワークショップの概要

- 市民ワークショップの目的
- 参加メンバーの構成
- 検討の経過
- 提言の具体化に向けて



1. 市民ワークショップの目的

(1) 実施目的

- ふなばSHIPミーティングは、ワークショップ形式で市民の皆さんの視点から、将来に向けたまちづくりのあり方（テーマ別の強み・弱み、推進すべき基本的取組など）を検討していただき、その検討結果を令和3（2021）年度を開始年度とする第3次総合計画の策定にあたっての重要な基礎資料として活用することを目的としています。

(2) 実施方法

- 市民の視点から、各行政分野に沿った強み・弱みの洗い出しと、強みを伸ばし・弱みを改善するためのアイデアなどを検討する手法として、“ワークショップ”の手法を取り入れました。

※ワークショップとは…

参加メンバーがまちづくりや計画策定という共通目標の達成に向けて課題や情報を共有し、お互いの立場や多様な意見を尊重・理解し合いながら交流することにより、解決策や提案をまとめていくという参加・体験型の検討作業の場です。

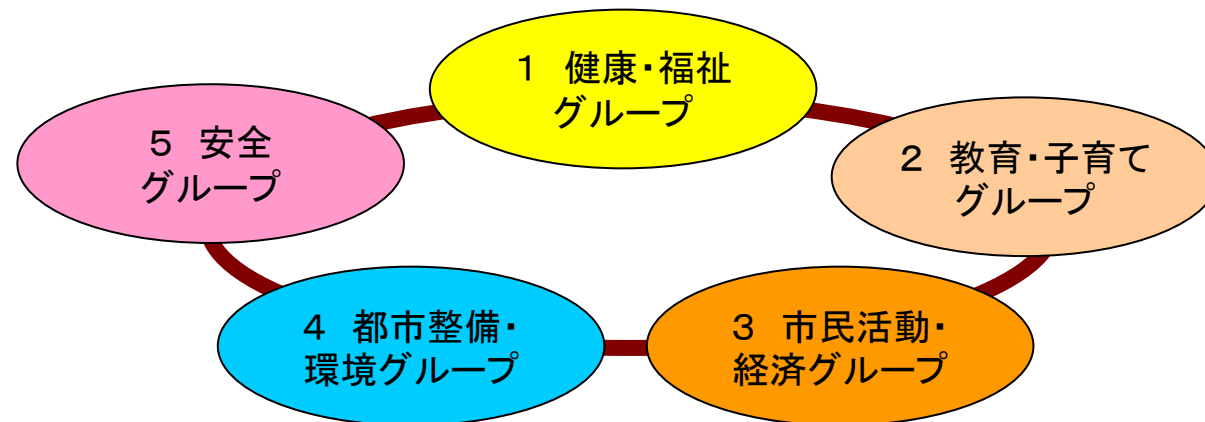
2. 参加メンバーの構成（1 / 2）

（1）参加メンバーの選出方法

- 参加メンバーは、市民アンケート（満18歳以上の方から無作為で6,000名を抽出）実施時に参加を呼びかけ、参加意向を頂いた方のうち29名にて構成されています。
- 事務局として市の職員が、各グループの検討の進行をサポートしました。

（2）検討テーマの構成

- 参加メンバー全員が均等に発言できる機会を確保し、かつ活発な話し合いが行えるよう、各自の「関心のある行政分野」に基づき、5つのグループに分かれ検討を行いました。



2. 参加メンバーの構成（2 / 2）

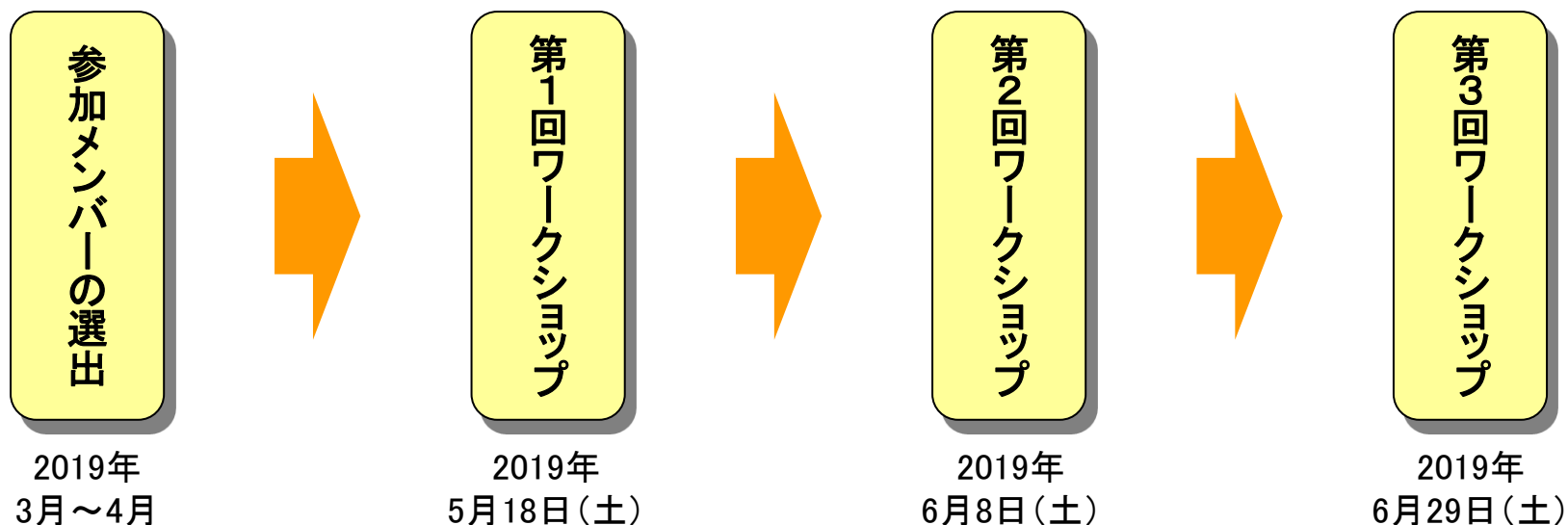
(3) 検討テーマごとのメンバー構成

グループ	検討テーマ	人数
1 健康・福祉グループ	健康・医療、介護、生活保護、社会福祉	6名
2 教育・子育てグループ	教育、子育て、青少年	6名
3 市民活動・経済グループ	市民協働、コミュニティ活動、文化・芸術、スポーツ、商工業、農水産業、消費生活、雇用、観光	6名
4 都市整備・環境グループ	道路、都市計画、市街地形成、公園、住まい、公共施設、環境、墓地、ごみ、リサイクル、上下水道	6名
5 安全グループ	消防、防犯、防災	5名

3. 検討の経過

(1) 市民ワークショップの検討経過

- 第1回⇒各テーマにおける「船橋市の強み・弱み」の洗い出し
- 第2回⇒「強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組」の検討
- 第3回⇒「めざすべき姿」の検討と発表



各グループからの報告

- 健康・福祉
- 教育・子育て
- 市民活動・経済
- 都市整備・環境
- 安全

◆健康・福祉グループ

分野

- ① 健康福祉全般
- ② 地域福祉・高齢者福祉
- ③ 健康・医療
- ④ 障害者福祉

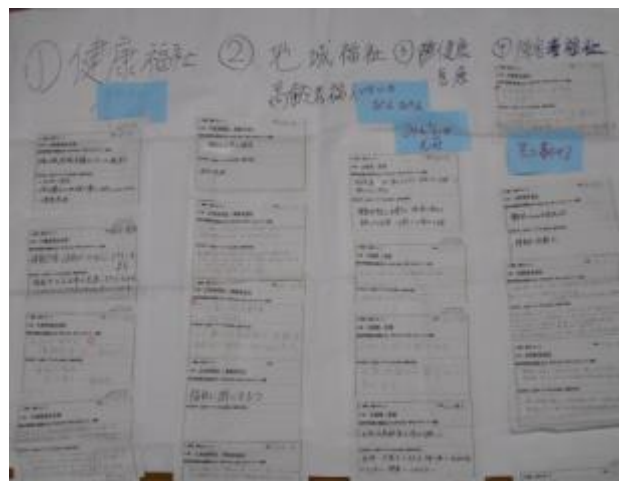
第1回「強み・弱みの洗い出し」



第2回「基本的取組の検討」



第3回「将来都市像の検討と発表」



①健康福祉全般

◆ 健康・福祉グループ

【強み】

- 市役所からの福祉に関する情報発信(案内記事)の多さ
- ボランティアの活動が活発
- ボランティアが地域で活躍している
- 福祉への関心が高い

【弱み】

- △情報発信はあるが、福祉サービスの利用方法が分からない
- △福祉に関する情報が、個人情報保護により、情報を必要とする市民に行き渡っていない
- △閉じこもりがちな人へのアプローチ
- △ボランティアに頼りすぎている



①健康福祉全般

◆ 健康・福祉グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 効果的な情報発信

- 「門松カード」の全戸配布や町会の回覧を活用するなど、必要な人に必要な情報が確実に行き届くよう、情報提供手段を充実する。
- 誰もが簡単に必要な情報を手にできるように、「地域包括支援センター」や「さーくる」など相談窓口の周知方法を工夫し、分かりやすくする。

📖 ふれあう機会の拡大

- 福祉への理解を促進するため、子どもの頃から日常生活や教育の場面などのあらゆる機会に、高齢者・障害者とふれあえる機会を増やし、福祉の心を養う。

📖 ボランティア育成・参加促進

- ひとり暮らし高齢者など支援を必要とする人の増加が見込まれることから、ボランティア活動の参加者を増やすために、ボランティア活動に参加するメリットを感じられる動機づけや工夫をする。



①健康福祉全般

めざすべき姿

- **みんながわかる情報発信**
～ベビーカーから車イスまで～
- **ボランティアが活発に行われ、
ふれあい・交流が進んでいる状態**

②地域福祉・高齢者福祉

◆ 健康・福祉グループ

【強み】

- 福祉への関心が高い
- 他の地域より拡大家族や祖父母が近くに住んでいる世帯が多い
- 元気な高齢者が多く活動が活発
- 高齢者がいきいきと生活できる場があること(市民大学など)
- 介護施設の多さ
- 充実した地域包括ケアシステム
- 認知症カフェなどの取組み

【弱み】

- △地域住民同士の交流が少ない
- △自分で思うように動けない方へのフォロー
- △民生委員が役割を果たせていない
- △ひとり暮らしの高齢者の多さ
- △市所管の介護施設を充実してほしい
- △福祉人材の処遇改善が必要
- △医療行為のできる施設が必要

②地域福祉・高齢者福祉

◆ 健康・福祉グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 見守りと交流を活発に

- ひとり暮らしの高齢者が増えるため、地域ぐるみで見守りと交流を活発にする。

📖 福祉人材の処遇改善

- 老々介護が増えているため、福祉人材を確保できるよう介護職員の処遇改善をする。

📖 高齢者の外出支援

- なかなか外に出てこない高齢者のために、交通利便性を活用し、外出しやすい環境づくりを進める。



②地域福祉・高齢者福祉

めざすべき姿

地域で見守りが行われることで…
ひとり暮らしの高齢者こんにちは！

地域の中で見守りがしっかりと行われることで、ひとり暮らしの高齢者のお宅にも気軽に「こんにちは」と声かけができている状態

③健康・医療

◆ 健康・福祉グループ

【強み】

- 市役所からの健康に関する情報発信（広報記事）の多さ
- 健康づくりの場があることの充実（公園でのラジオ体操など）
- 中学3年生までを対象とした子ども医療費の助成制度
- シルバーリハビリ体操等の取組

【弱み】

- △かかりつけ医が見つけれない
- △医療費助成制度の対象年齢を拡大する
- △医療の質と量の確保
- △閉じこもりがちな人へのアプローチ
- △歩道が狭いことで外出をしなくなる
- △医療センターに救急があるが、同症状の患者が先にいると受け付けてもらえない
- △健康ポイントを周りでやっている人が少ない



③健康・医療

◆ 健康・福祉グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 自助努力の推進

- 誰もがいつかは公的サービスを使用することになるが、その前に健康管理など、自分でできることは自分で行うことが大切なため、健康でいられるよう自助努力を行う。

📖 ホームドクターの拡大

- 困ったときに身近で安心して医療を受けられるよう、ホームドクター制度を充実する。

📖 活動の場の拡大

- 高齢者が健康でいられるよう、シルバーリハビリ体操などの高齢者が参加できる機会を増やす。



③健康・医療

めざすべき姿

みんながいきいきぴんぴんで活動できる

④障害者福祉

【強み】

○健常者の障害者に対する理解が浸透している

【弱み】

△障害者の自立後の支援

△市内における知的障害者の就労の場

△知的障害者の老後の居場所の確保

△障害者の周知促進

△特別支援学級への通学の利便性（身近な場所がない）

△市所管の障害者福祉施設の充実

△市内の障害者宿泊施設などが少ない

△車イスで通るには歩道が狭い



④障害者福祉

◆ 健康・福祉グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 自立後の支援の充実

- 就労し自立した障害者が、老後に安心して暮らしていけるよう自立後の支援体制を充実する。

📖 障害者施設の整備・充実

- 困ったときに必要なサービスを受けられるよう、入所施設やショートステイの整備・充実を図る。

📖 安全な道路整備

- 車イスの人が安心して通行できるように、歩道や踏切の拡幅・段差の解消を進める。



④障害者福祉

めざすべき姿

理解が深まり、共に安心して暮らせる

障害のある人もない人も、お互いに理解が進むことで、地域の中で共に安心して暮らすことができる状態

◆教育・子育てグループ

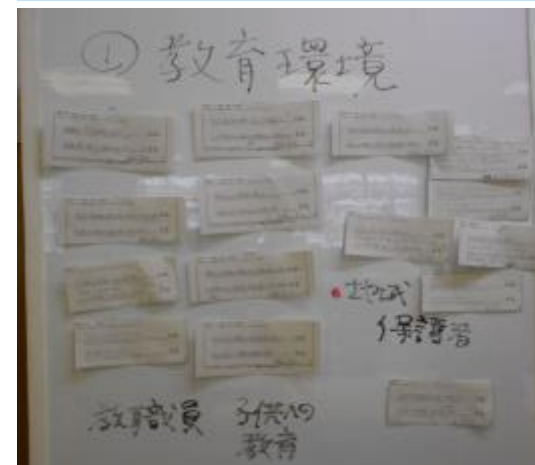
分野

- ① 教育環境
- ② 子育て環境

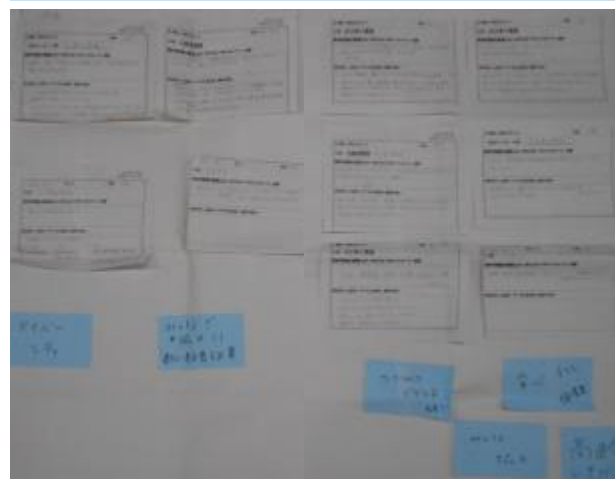
第1回「強み・弱みの洗い出し」



第2回「基本的取組の検討」



第3回「将来都市像の検討と発表」



①教育環境

◆ 教育・子育てグループ

【強み】

- 児童・生徒数が減っていない
- メディカルタウン構想等を活用し、大学等を誘致できる環境がある
- 教育格差是正のための取組みが盛ん
- 全校に放課後ルーム・船っ子教室がある
- 外国人・障害児を公平に対応する学校の姿勢

【弱み】

- △一貫した進学校がないため優秀な子供が私立学校へ流出
- △小中学校の学級数の地域格差が大きい
- △PTAの活動のあり方について、再度検討する必要がある
- △外国人児童への対応が不十分



①教育環境

◆ 教育・子育てグループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 学校教育環境の充実・効率化

- I C T を活用し保護者と学校の連携を強化する。
- 保護者・先生の負担軽減のため、P T A 活動の見直しをする。
- 質の高い学校教育と教員の負担軽減のため、民間の力を活用する。
- 児童・生徒数の違いによる学習指導の地域格差是正に努める。
- 子どもの教育環境の充実、ワークライフバランスの実現のため、保護者・地域・学校における新たな仕組みをつくる。

📖 様々な児童・生徒に対する支援の充実

- 発達障害児への支援体制を充実させるため、学校で発達障害の児童・生徒を支援するボランティアを育成するために研修会を実施する。
- 外国人児童・生徒の受入マニュアルを作成するなど支援を充実させる。



①教育環境

めざすべき姿

全ての世代が協力して新しい教育改革に
取り組むまち

②子育て環境

◆ 教育・子育てグループ

【強み】

- 保育園数の増加による待機児童の減少
- 公民館や児童ホームでの子ども対象のイベント・ワークショップが充実
- 保育園職員の待遇が良い

【弱み】

- △ 病児保育施設のさらなる増加が必要
- △ 公立の放課後ルームプログラムが不十分
- △ 放課後や休日の遊び場の不足



②子育て環境

◆ 教育・子育てグループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 ワークライフバランスの推進

- ワークライフバランスを実現するため市内企業を支援するとともに、船橋オリジナルのワークライフバランス認定・表彰制度をつくる。
- 病児・病後児の預かり施設等様々な保育サービスを整備する。
- 地域の方（高齢者等）が子育てに参加できる仕組みをつくる。

📖 子どもの居場所の充実

- 子どもの居場所を確保するため、高齢者施設等を開放して共同で遊び、子どもの面倒を見る仕組みを新設する。
- 放課後ルームのプログラムを充実させるため、市民が先生になりプログラムを組む。
- いじめの相談窓口や中高生の居場所を増やすため、電話窓口の周知や、児童ホーム以外で中高生が気軽に立ち寄れる施設の整備に取り組む。

②子育て環境

めざすべき姿

- 保護者と地域が協力して子どもが安心して暮らせるまち
- ワークライフバランス日本一を目指す

◆市民活動・経済グループ

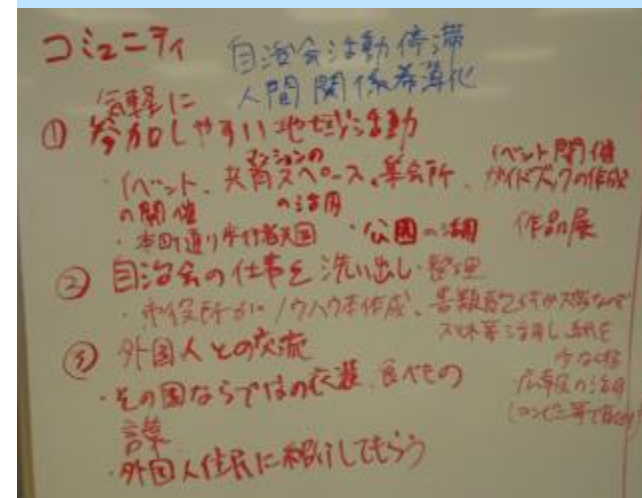
分野

- ① 商業・経済
- ② 観光
- ③ コミュニティ活動
- ④ 文化・スポーツ

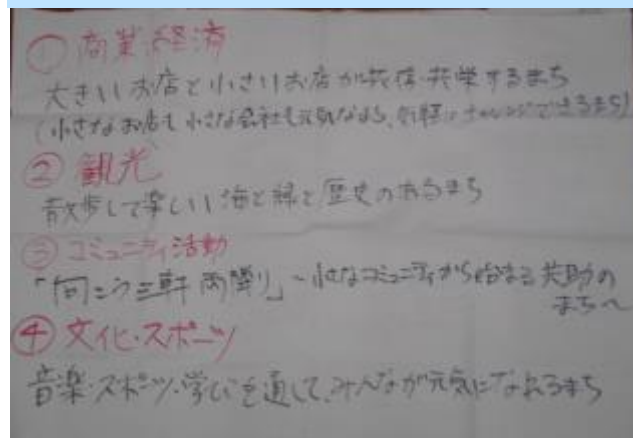
第1回「強み・弱みの洗い出し」



第2回「基本的取組の検討」



第3回「将来都市像の検討と発表」



【強み】

<買い物の利便性が高い>

- 商業環境の充実
- 大手のスーパーに負けず小売店も頑張っている
- 商業モールが充実(ららぽーと、ビビット、イオン)
- 商業施設が多く、生活に便利(ららぽーと)
- スーパーが多く買い物に便利
- 映画やカラオケなど娯楽施設が多い
- 北習志野駅の周りに若い人がやっているカフェができて便利
- 東武百貨店での買い物が楽しい



【弱み】

＜地域経済循環していない＞

- △ 特別なもの、大きなものは都内や千葉市に買いに行ってしまう
- △ 東京に出てしまう人が多いため地域内経済循環が少ない

＜船橋駅・西船橋駅周辺の環境が悪い＞

- △ 古き良きものが失われつつある(宿場町や街道)
- △ JR駅の近くに大音量を発するパチンコ店が多い
- △ 西船橋駅周辺にラブホテルや居酒屋が多い
- △ 旧西武デパートが用途不明のまま放置状態
- △ JR船橋駅の動線の確保
- △ JR船橋駅は電車じゃないといけないイメージがある
- △ JR船橋駅の朝夕の大混雑、ホームドアの未整備

①商業・経済

◆ 市民活動・経済グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 定期的な市（船橋マルシェ）

- 船橋の特産品を紹介・販売する定期的な市を開催し、知名度の向上を図る。

📖 企業誘致（起業サポート・船橋イノベーション）

- 大企業は土地の確保が難しいので、インキュベーション施設や、レンタル施設を充実化するなどして、ベンチャーやユニコーンなど将来性のある企業を支援する。
- 商店街の空き店舗などを利用して起業等を志す方々に一日体験の場を提供する。低リスクで事業検証を行う機会を提供することにより市内の活性化を図る。

📖 買物弱者対策（コンビニキャラバン）

- 高齢者が増加し、買物弱者が増加するので、移動販売など買物支援策を推進する。



①商業・経済

めざすべき姿

大きいお店と小さいお店が共存・共栄するまち
(小さなお店も小さな会社も元気なまち、気軽に
チャレンジできるまち)

②観光

◆ 市民活動・経済グループ

【強み】

<観光資源が豊富>

- アンデルセン公園、行田公園、競馬場の公園、海老川沿い、三番瀬など、花見が出来る大きな公園がある
- 全国的に名の知れたアンデルセン公園がある
- 三番瀬や潮干狩りがある
- 玉川旅館、太宰治など文学にゆかりのある建物・人がある
- 船橋大神宮がある
- 船橋駅周辺にホテルができたりと開発が進んでいる

<イベントが充実>

- 大神宮では朝市があり、のりの味噌汁がおいしくて活気がある
- 西船なな姫ちゃんやだまされマウスなど、ゆるキャラが集まる楽しいイベントがららぽーとで開催されること

②観光

◆ 市民活動・経済グループ

【弱み】

<観光資源はあるのにPRが弱い>

- △ 対外的な魅力アピールが足りない
- △ イベント関連での集客アピールが不足している
- △ 市内案内パンフレット等が見つけられない

<何でも揃っているだけにこれというものが無い>

- △ 市としてこれが売りというものが浮かばない
- △ 観光としての売りが明確でない
- △ 海に近いのにそれがあまり生かされていない

<その他>

- △ インバウンド観光客が少ない印象がある
- △ ベイエリアの「にぎわい」と北部エリアの連携が弱い

②観光

◆ 市民活動・経済グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 ウォーターフロントの活用

- SHIRASE5002はサッポロビール園前に係留しているが、アクセスが悪く、開放されている日しか入ることはできないので、親水公園付近に移動させ、横浜の山下公園の氷川丸のようにランドマークとして活用する。

📖 船橋学（古き良きものの見直し・資源の体系化）

- 船橋にある様々な資源を整理し、体系化する。小学校の授業で行えば、郷土愛醸成にもつながる。最終的には「船橋検定」創設につなげる。

📖 文化施設の活用

- 宿場町であった歴史を活かすとともに、寺社仏閣などのマップを作成し、御朱印帳と一体とすることで街歩きのアイテムとして活用する。



②観光

めざすべき姿

散歩して楽しい海と緑と歴史のあるまち

③コミュニティ活動

◆ 市民活動・経済グループ

【強み】

<若い世代の増加>

- 地域により若い人が増加傾向にある
- 企業の社宅等が多いため、新規入居者が多い

<施設が充実>

- 市民が活動しやすい施設が充実している
- 体育館が近くて安い値段で活動しやすい
- 公民館の調理室がよい(特にららぽーと近くの公民館)
- 新しくなった西図書館が本当に便利で、展示も面白い



③コミュニティ活動

◆ 市民活動・経済グループ

【弱み】

＜人間関係の希薄化＞

- △ マンションの住民同士が関わる仕組みが少なく、近所づきあいが少なくなりがち
- △ 船橋市内の学生同士交流できる機会が少ない

＜自治会活動が停滞化＞

- △ 自治会長の成り手、後継者がいない
- △ 人間関係が難しいため、会合に参加したくない

＜地域活動に参加しづらい・情報入手しづらい＞

- △ 地域の祭りなどのイベントが減少し顔がわからなくなっている
- △ 市民活動が月・木でかつ月1, 2回など参加しにくい日に設定されている
- △ 音楽祭みたいに大人数で集まれるようにすればいいのではないか
- △ 大人の遊びの場が公民館しかない
- △ 参加しやすいイベントがあるとよい(そもそも開催されることを知らない)
- △ チラシやパンフレットが分散して配られている
- △ あちこち回ると、安く映画が見られる情報が手に入るような仕組みがあると良い

＜外国人の受け入れ問題＞

- △ 増加する外国人移住者の受け入れ

③ コミュニティ活動

◆ 市民活動・経済グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 **気軽に参加しやすい地域活動**

- サラリーマンも参加しやすい時間帯・曜日の地域イベントを開催し、地域に溶け込むきっかけをつくる。
- 特に新興マンションでは、隣に住んでいる人の顔もわからない。共有スペースや集会所を活用してイベントを実施すれば、関係づくりのきっかけとなる。
- 公園の使用方法等を解説したイベント開催ガイドブックを作成する。

📖 **自治会の仕事を洗い出し・整理**

- 市役所が自治会の業務を整理したノウハウ本を作成する（自治会の取扱説明書）。
- 市役所からの書類の各戸配布が大変なので、スマホ等を持っている人は紙配布を無くしたり、広報を活用する（コンビニ等で配布し入手しやすくする）。

📖 **外国人との文化交流**

- 外国人住民自身に、その国ならではの衣装、食べ物、言葉等の文化を紹介してもらい、地域住民との交流機会をつくる。



③コミュニティ活動

めざすべき姿

「向こう三軒 両隣り」
～小さなコミュニティから始まる共助のまち～

④文化・スポーツ

◆ 市民活動・経済グループ

【強み】

＜音楽が盛ん＞

- まちかど音楽ステージや千人の音楽祭など音楽が盛ん
- 小・中・高とオーケストラ等の音楽文化レベルが高い
- ふなばしミュージックストリートは全国に誇れる市民参加型の市民イベントとなっている
- 学校に遊具や楽器など文化的な設備・活動が整っているのが強み

＜スポーツが盛ん＞

- プロバスケットチームが強くかつ有名
- スポーツが盛ん(高校、中学)
- 全国的に名が知れている市立船橋高等学校がある

【弱み】

- △大学がなく、アカデミックさがない



④文化・スポーツ

◆ 市民活動・経済グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 音楽の日をつくる

- どこでも音を鳴らしていい日とし、市内各地のまちかどで大小いろいろな催しを開催する。
- 音楽を志す人を支援する仕組みをつくる（楽器の貸与等）。
- 船橋ドドンパに次ぐ、船橋の歌をつくる。

📖 学生交流促進（学生がリード役）

- 学生（在住・在学）を対象とする政策コンペを開催する。

📖 バスケットのまち

- 市内にストリートバスケットのコートを増やす。
- 本町通りを歩行者天国にして、ストリートバスケットイベントを開催する。連動したイベントとして、千葉ジェッツふなばしの協力のもと選手に参加していただくなどバスケットのまちとして発信を行う。

④文化・スポーツ

めざすべき姿

音楽・スポーツ・学びを通して、
みんなが元気になれるまち

◆都市整備・環境グループ

分野

- ① 道路インフラ
(車道・歩道・公共交通)
- ② 都市計画
- ③ 環境

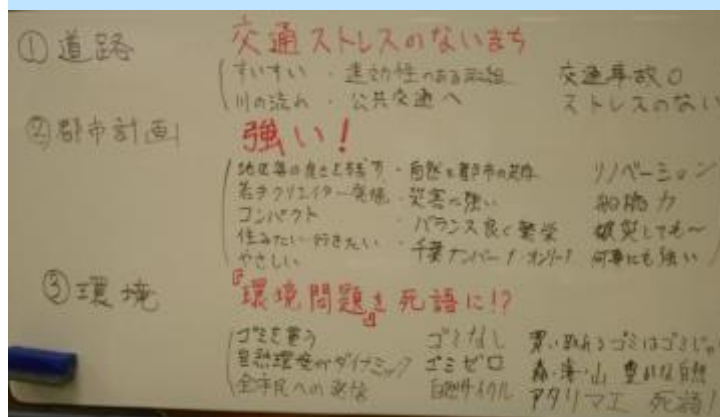
第1回「強み・弱みの洗い出し」



第2回「基本的取組の検討」



第3回「将来都市像の検討と発表」



①道路インフラ（車道・歩道・公共交通）

◆ 都市整備・環境グループ

【強み】

- 京葉道路や湾岸道路など、都心部への広域幹線道路の充実
- 羽田空港や成田空港へのアクセスのしやすさ

【弱み】

- △深刻な交通渋滞（幹線道路、踏切、公園、高速道路入口周辺）
- △片側1車線の道路の多さ
- △道路幅員の狭さ（車道・歩道問わず）
- △通学路の安全性の低さ



①道路インフラ（車道・歩道・公共交通）

◆ 都市整備・環境グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📁 幹線道路や鉄道連続立体交差の建設

- 都市計画道路の整備を促進する。
- 市内を南北に縦断する道路を建設する。
- 高架化等することで踏切をなくす。

📁 交通規制等の実施

- 車両番号や車の種類により通過規制を実施する（奇数偶数等）。
- 時間帯により通過規制を実施する。
- 右左折禁止、一方通行等の箇所を増やす。
- 公共交通機関を利用するよう誘導する。

📁 歩行者の安全を守る道路整備や装置・システムの設置

- 歩車分離のための道路改良、歩道が狭い道路の拡幅を促進する。
- ガードレールやミラーを充実させる。
- A I を活用した信号システムを導入する。



①道路インフラ（車道・歩道・公共交通）

めざすべき姿

交通ストレスのないまち

②都市計画

◆ 都市整備・環境グループ

【強み】

- 再開発事業による駅前等の発展
- 都市と自然の丁度よい調和

【弱み】

- △空き店舗、空き家の増加
- △再開発の余地がある土地の存在
- △ランドマークの欠如



②都市計画

◆ 都市整備・環境グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

🏠 利活用を主とした空き家対策の促進

- 空き家を格安で提供する（若手デザイナーやクリエイターなど）。

🏠 住宅・建築物の耐震化の促進

- 建替えを促進する条例を制定する。
- 現状の制度の周知を図る。

🏠 船橋市内の駅前を中心とした市街地再開発の実施

- 土地区画整理事業の実施。
- 老朽化した建物を取り壊し再整備する。
- 官民連携による複合施設の開発に取り組む。



②都市計画

めざすべき姿

強い！

災害への備えや市街地開発、空家の活用等、あらゆるまちづくり施策について、みんなが近隣市や日本国内の市町村と比べ「船橋市は強い！」と感じられ、今後もみんなに選ばれ続けるまちになる状態

③環境

◆ 都市整備・環境グループ

【強み】

- 効率的な家庭系可燃ごみの収集体制
- 北部清掃工場におけるごみの受入体制(何でも受入可)

【弱み】

- △家庭系可燃ごみの収集回数減少
- △南部清掃工場におけるごみの受入体制(一部受入不可)
- △太陽光発電の少なさ



【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📁 環境問題に関する積極的な情報発信・注意喚起

- 各課の持つ情報を電子化し、発信する。
- 県民の森を利用した研修施設を設置する。

📁 ごみのリサイクル率を向上させる施策の実施

- ショッピングモール等にリサイクルごみの回収拠点を設置する。
- 分別回収にインセンティブを与える。
- クリーンアップ作戦と称したゴミ拾いや植樹等のイベントを実施する。



③環境

めざすべき姿

『環境問題』を死語に！？

船橋市が抱える環境問題が解決し、そもそも「環境問題」という言葉自体を語る必要がなくなっている状態

◆安全グループ

分野

- ① 防災
- ② 防犯
- ③ 交通安全

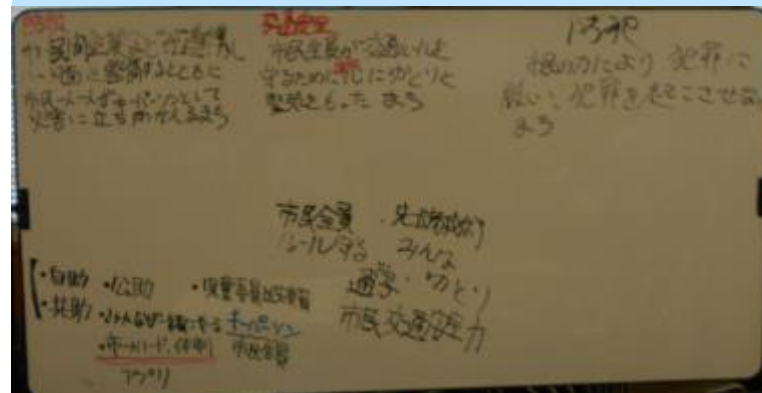
第1回「強み・弱みの洗い出し」



第2回「基本的取組の検討」



第3回「将来都市像の検討と発表」



①防災

◆ 安全グループ

【強み】

- 小中学生への防災教育のレベルが高い
- 大規模災害が起こりにくい地盤が多い
- 防災倉庫が整備されている
- 病院や大型スーパー(災害時における食料品等が多くある)が他市に比べて多い
- 交通網が豊富で便利(帰宅やボランティアの応援、救援物資など)
- 都心に近く情報が入りやすい

【弱み】

- △湾岸の工業地域に老朽化した建物が多い
- △食品備蓄の在庫数がわからない
- △人口増に比して安全への意識が低下(防災訓練に人が来ない)
- △防災訓練時の市職員の意識が低い
- △防災無線が聞き取りにくい(特に高齢者に不親切)
- △子供がいないと市の情報が入ってこない
- △商業施設に行政情報(防災情報)が少ない



①防災

◆ 安全グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 防災設備の充実

- 民間企業やNPO等との連携を強化し、防災設備の充実を図る。
- 防災拠点を小中高校・自治会館に拡大し、それぞれに対し、拠点教育を行う。

📖 防災意識の向上

- 授業に組み込むなど幼少期からの教育を徹底する。

📖 情報の周知徹底

- メール配信、LINE等のSNSなどを様々なチャンネルを活用し、多くの人に情報発信する。
- 受信者が情報を受け流さないよう工夫した情報発信を行う。
- 多くの人々が情報入手しやすいようにスマートスピーカーなどICT機器の活用を強化する。
- キャラクターなどを作成する。



①防災

めざすべき姿

市・民間企業などが連携しハード面を整備するとともに、市民一人一人がキーパーソンとして災害に立ち向かえる土壌のあるまち

②防犯

◆ 安全グループ

【強み】

- 夜警など市民による夜間の見回りがある
- 日中活動している元気なお年寄りが多く、防犯に寄与している
- 学校からの不審者注意等のメール連絡がある
- 都心に近く情報が入りやすい

【弱み】

- △振り込め詐欺被害の増加
- △ひったくりが多い
- △防犯に対する意識が低い
- △近所の住民とのコミュニケーションが薄い
- △街路灯が整備されていない
- △犯罪情報の周知が不十分
- △商業施設に行政情報(防犯情報)が少ない



②防犯

◆ 安全グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 犯罪抑止力強化

- 全ての信号機に防犯カメラを設置し、ネットワーク化する。
- 市内の危険地域を明確化させる。

📖 市民の防犯意識向上

- 小学校などで「防犯教育・訓練」を実施、強化する。

📖 地域の防犯力向上

- 地域のコミュニティ活動が活発な地域をモデル地区として選定し、全市に活動を広める。

📖 情報の周知徹底

- メール配信、LINE等のSNSなどを様々なチャンネルを活用し、多くの人に情報発信する。
- 受信者が情報を受け流さないよう工夫した情報発信を行う。
- 多くの人々が情報入手しやすいようにスマートスピーカーなどICT機器の活用を強化する。
- キャラクターなどを作成する。

②防犯

めざすべき姿

市民の力により犯罪を起こさせないまち

③交通安全

◆ 安全グループ

【強み】

- スクールガードの充実
- ゾーン30が整備されている
- くねくね道で速度制限の工夫されている場所がある
- 都心に近く情報が入りやすい

【弱み】

- △通学路の安全が整備されていない(箇所がある)
- △踏切を立体交差に
- △歩道・車道・自転車道の整備の遅れ
- △細く・くねくねした農道が多い
- △成田街道(296号線)・木下街道が昔のまま(道・歩道が狭い)で危ない
- △子供がいないと市の情報が入ってこない
- △商業施設に行政情報(交通安全)が少ない



③交通安全

◆ 安全グループ

【強みを伸ばし、弱みの改善に向けた基本的取組】

📖 歩行者の安全確保

- 居住道路にゾーン30の整備を進める。
- 子育て世帯へのアンケートを実施し、通学路の危険個所を明確化する。

📖 交通安全の向上

- 船橋市独自の交通安全に関する条例を制定する。
- 補助金などを新設し、ドライブレコーダーの設置を必須とする。
- 年に1回交通安全に関するテストを実施する。

📖 情報の周知徹底

- メール配信、LINE等のSNSなどを様々なチャンネルを活用し、多くの人に情報発信する。
- 受信者が情報を受け流さないよう工夫した情報発信を行う。
- 多くの人々が情報を入手しやすいようにスマートスピーカーなどICT機器の活用を強化する。

③交通安全

めざすべき姿

市民全員が交通ルールを守るために、
常に心にゆとりと緊張をもったまち